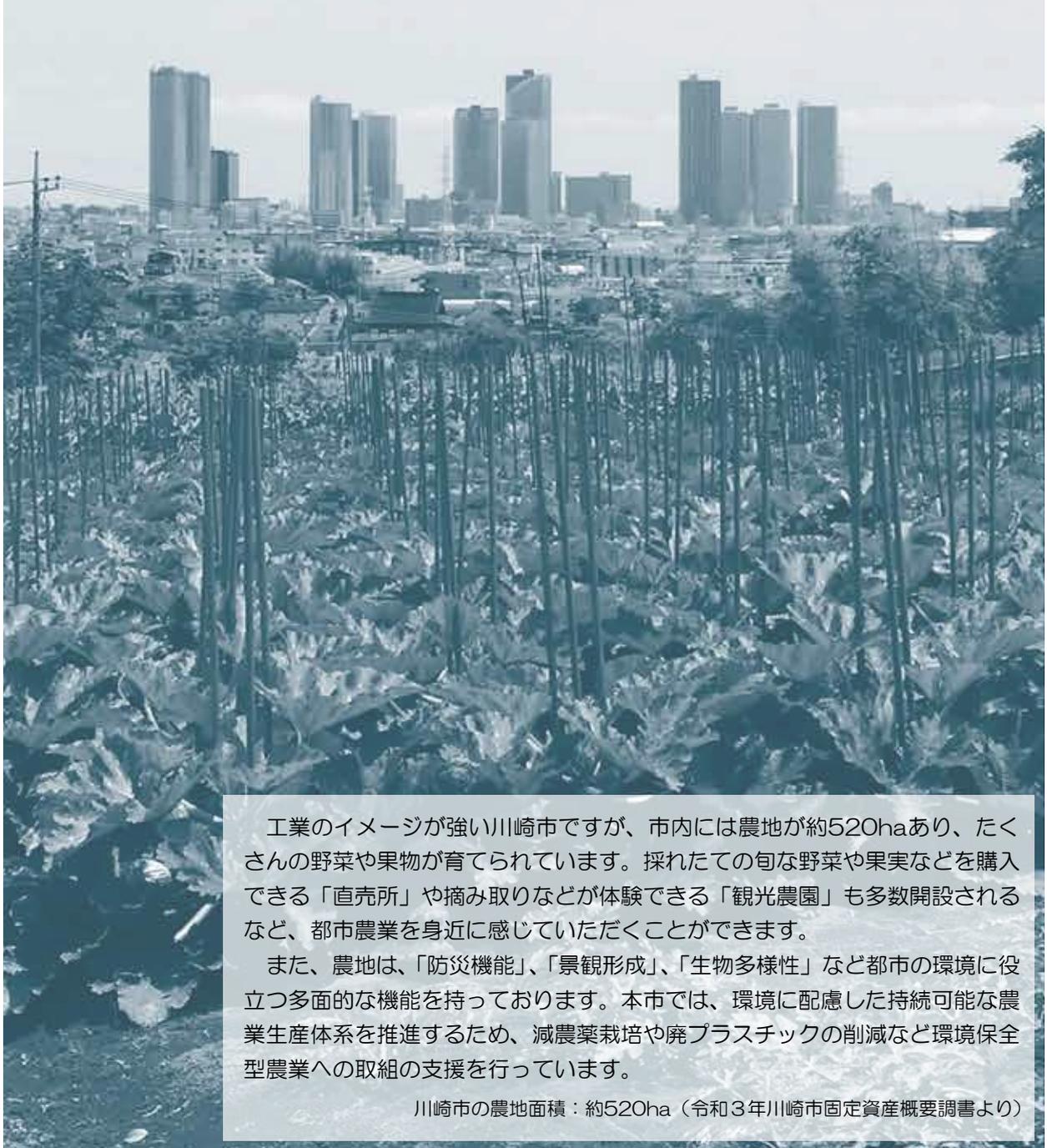




川崎市農業の環境保全について



工業のイメージが強い川崎市ですが、市内には農地が約520haあり、たくさんの野菜や果物が育てられています。採れたての旬な野菜や果実などを購入できる「直売所」や摘み取りなどが体験できる「観光農園」も多数開設されるなど、都市農業を身近に感じていただくことができます。

また、農地は、「防災機能」、「景観形成」、「生物多様性」など都市の環境に役立つ多面的な機能を持っています。本市では、環境に配慮した持続可能な農業生産体系を推進するため、減農薬栽培や廃プラスチックの削減など環境保全型農業への取組の支援を行っています。

川崎市の農地面積：約520ha（令和3年川崎市固定資産概要調書より）



田んぼってすごい！

市内では、田んぼはとても貴重なものになっています。田んぼは、水を多く含むことができ、洪水を防ぐ機能、地下水を作る機能、暑さをやわらげる機能、生き物のすみかになる機能、文化を伝承する機能など、食（お米）の供給のほかに私たちの生活に潤いをもたらす多くの機能があります（農林水産省HPより一部引用）。市内では、麻生区岡上・黒川・早野に多く、毎年6月に入ると田植えが始まり、昆虫やカエルなどの水辺の生き物が田んぼやその周辺で多くみられようになります。夏には青々とした田園風景に触れることができ、田の周りには爽やかな風が通り抜けます。また、年始には地域の農家さんたちを中心に「どんと焼き」を行うなど、田んぼを中心とした地域の伝統文化が継承されています。

麻生区のほか、多摩区や宮前区でも見ることができますので、身近な田園風景を探してみたいかでしょうか。



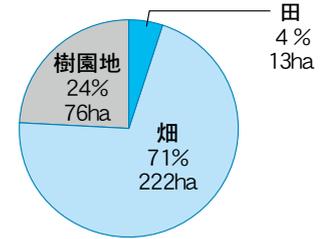
2020年（黒川の田んぼ）



2021年（岡上の田んぼ）

※田や畑は個人の所有地ですので自由に立ち入ることはできません。

市内耕作面積のうち、田の占める割合は少ない（H29農業実態調査）



川崎市の環境保全型農業の取り組み

市では、平成12年3月に「川崎市環境保全型農業推進方針」を策定し、環境保全型農業を推進しています。環境保全型農業とは、農業の持つ物質循環機能を生かし、土づくり等を通じて化学合成農薬や化学肥料等の使用による環境負荷の軽減と、より安全な農産物生産に配慮した持続的な農業のことです。

例えば、市内の果樹や野菜栽培では、

- ①性フェロモン剤（主要害虫の交信かく乱剤）の利用
- ②生分解性マルチの利用など に取り組んでいます。

①は、害虫被害を軽減するために雄を誘引する性フェロモンを空气中に揮散し、雌雄間の交信をかく乱させることで産卵密度を低下させる資材（コンフューザー®）であり、農薬の散布回数を減らすことが可能です。

また、②は土の温度・湿度の調節や、雑草の抑制等の目的で畑に敷くシートですが、微生物によって分解させるため、通常使用後に廃棄されるポリマルチと異なり、廃プラスチックの排出量を減らすことが可能です。

今後も、農業の持つ自然環境機能を生かし、生産性と調和しながら、環境負荷の軽減に配慮した取組を支援していきます。

■コンフューザー®Nを利用したナシの栽培



ナシの害虫であるナシヒメシクイやハマキムシの発生を減らし、被害を少なくします。

■コンフューザー®Vを利用したブロッコリーの栽培



野菜の害虫であるコナガヤハスモンヨトウの発生を減らし、被害を少なくします。

■生分解性マルチを利用したさつまいも栽培



使用後の生分解性マルチ



「令和3年度花と緑のまちづくり講座」受講生大募集

私たちの住むまちを花と緑でいっぱいになりたいと考えている方を対象に、地域の緑化活動の核となる人材を育成する講座です。ふるってご応募ください。



日 時 令和3年9月から令和4年1月までの全6回 10時～16時
令和3年9月10日(金)、10月8日(金)、10月29日(金)、11月12日(金)、12月21日(火)
令和4年1月25日(火)

内 容 花と緑の基礎知識を学び地域の環境リーダーを養成する講座です。
「川崎の花と緑を知る」「花と緑の基礎知識を学ぶ」「花と緑のデザインを考える」「花壇を創る」等

場 所 中原区役所会議室、等々力緑地ほか

対 象 市内在住・在勤・在学で原則として6回出席できる方(定員30名 応募多数の場合は抽選)

応募期間 令和3年7月1日(木)～8月17日(火) 参加費 無料

応募チラシの申込書を川崎市公園緑地協会あて送付またはメール・FAXでお送りください。
※詳しくは応募チラシ(区役所、市民館などで配布・HPでダウンロードできます)をご覧ください。

問い合わせ：公益財団法人 川崎市公園緑地協会 TEL 711-6631 FAX 722-8410
〒211-0052 川崎市中原区等々力3-12 申込専用E-mail: k.katada@kawasaki-green.or.jp



王禅寺エコ暮らし環境館「夏休みミニイベント」のお知らせ

王禅寺エコ暮らし環境館では、「夏休みミニイベント」を開催いたします。ペットボトルを使ったリサイクル工作教室や施設内でのスタンプラリー。日替わりで、王禅寺処理センターのガイドツアー、スケルトン車の展示などを行います。事前予約が可能なものがありますので、お気軽にお問い合わせください。

●開催日時：令和3年8月6日(金)～8月7日(土) 10時～15時
(開館時間：9時～16時30分)

●開催場所：王禅寺エコ暮らし環境館
(麻生区王禅寺1285番地 王禅寺処理センター内)

●参加費：無料(7月29日(木)から事前予約受付開始予定)

※新型コロナウイルスの影響でイベント日程の縮小や内容の変更をさせていただく場合がありますので、ホームページにて最新情報をご確認ください。
また、感染症対策として入場口での検温及びご連絡先等をご記入いただけます。

ホームページは
こちらから➡



処理センターの
ガイドツアー



スケルトン車
展示



問い合わせ：王禅寺エコ暮らし環境館 TEL 712-4637 FAX 712-4638

お知らせ

令和2年度航空機騒音観測結果

市では、中原一般環境大気測定局と麻生一般環境大気測定局に航空機騒音観測装置を設置し、騒音を測定しています。令和2年度(観測期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日)の航空機騒音観測結果は次のとおりです。

観測場所	観測回数*(回)			航空機騒音 年間Lden値	騒音レベル 最大値(dB)
	総数	70～80dB	80dB超過		
中原一般環境大気測定所屋上	2,431	425	27	38.2	86.3
麻生一般環境大気測定所屋上	4,969	347	8	39.1	84.7

騒音レベルの目安

70dB：新幹線の車内
80dB：航空機の機内
90dB：パチンコ店内

※観測回数は、暗騒音レベル(航空機が飛行していない時)より10dB以上大きい航空機騒音を観測した回数を示しています。
※Lden(時間帯補正等価騒音レベル)とは、夕方と夜間の騒音に重み付けを行い、1日に発生したすべての騒音の暴露量を合計し、1秒あたりの評価値として表したものです。

また、航空機騒音に関する意見は、航空機を所管する関係機関に伝え騒音の解消に向け取り組んでいます。

問い合わせ：環境局環境保全課 TEL 200-2525 FAX 200-3922



浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果(2021年5月)

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場において、敷地境界の空間放射線量（ガンマ線）及び内水の放射能濃度（放射性セシウム濃度）について測定を行っています。5月の測定結果は次のとおりです。詳しくは市ホームページをご覧ください。

	測定値	測定日	基準等	測定頻度
空間放射線量 (単位: $\mu\text{Sv/h}$)	0.02 ~ 0.03 $\mu\text{Sv/h}$	5月6日~5月25日	国の基準値 0.23 本市の目安値 0.19	週1回
埋立処分場内水 (単位: Bq/L)	3.4Bq/L (検出下限値: 1.0)	5月13日	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	月1回

●詳しくはホームページをご覧ください。



問い合わせ：環境局処理計画課 TEL 200-2590 FAX 200-3923



大気環境 (2021年5月)

- 二酸化窒素 (NO₂): 一般局は全局で日平均値が0.06ppm以下でした。自排局は全局で日平均値が0.06ppm以下でした。
- 浮遊粒子状物質 (SPM): 一般局は全局で環境基準の短期的評価に適合しました。自排局は全局で環境基準の短期的評価に適合しました。
- 光化学オキシダント (O₃): 市内に光化学スモッグ注意報は発令されませんでした。
- 微小粒子状物質 (PM_{2.5}): 一般局は全局で日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下でした。自排局は全局で日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下でした。

		二酸化窒素(NO ₂)			浮遊粒子状物質(SPM)			微小粒子状物質(PM _{2.5})			
		月平均値 (ppm)	日平均値が0.04ppmを超過した日数(日)	日平均値が0.06ppmを超過した日数(日)	日平均値が0.06ppm以下の日数割合(%)	月平均値 (mg/m ³)	環境基準を超過した日数(日)	環境基準に適合した日数の割合(%)	月平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超過した日数(日)	日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下の日数割合(日)
一般環境 大気測定局	大師島	0.014	0	0	100	0.016	0	100	10.7	0	100
	田川	0.014	0	0	100	0.016	0	100	12.7	0	100
	幸崎	0.013	0	0	100	0.013	0	100	11.3	0	100
	幸	0.011	0	0	100	0.014	0	100	8.9	0	100
	中原	0.010	0	0	100	0.014	0	100	9.2	0	100
	高津	0.010	0	0	100	0.014	0	100	10.5	0	100
	宮前	0.009	0	0	100	0.014	0	100	8.8	0	100
	多摩	0.007	0	0	100	0.012	0	100	----	----	----
	麻生	0.007	0	0	100	0.014	0	100	8.9	0	100
	平均	0.011	—	—	100	0.014	—	100	10.1	—	100
自動車 排出ガス 測定局	池上	0.024	0	0	100	0.018	0	100	11.7	0	100
	日進町	0.015	0	0	100	0.013	0	100	9.5	0	100
	富士見公園	0.017	0	0	100	0.017	0	100	11.0	0	100
	遠藤町	0.020	0	0	100	0.013	0	100	----	----	----
	中原平和公園	0.011	0	0	100	0.014	0	100	8.6	0	100
	二子	0.022	0	0	100	0.013	0	100	10.3	0	100
	宮前平駅前	0.012	0	0	100	0.016	0	100	9.3	0	100
	本村橋	0.011	0	0	100	0.015	0	100	9.2	0	100
	柿生	0.010	0	0	100	0.014	0	100	11.0	0	100
		平均	0.016	—	—	100	0.015	—	100	10.1	—

注1：本データは最終確定値ではありませんので、後日修正することがあります。

注2：本表中のSPMにおける環境基準評価は、当月の測定結果について短期的評価を行ったものです。

環境基準

- 1 二酸化窒素：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下
- 2 浮遊粒子状物質：1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下
- 3 微小粒子状物質：1年平均値が15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

●詳しい測定データは、市のホームページまたは下記までお問い合わせください。

<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-10-2-1-0-0-0-0-0.html>



問い合わせ：環境総合研究所地域環境・公害監視担当 TEL 276-9096 FAX 288-3156

公害病被認定患者数1,173人
(認定者総数6,055人—認定失効者数4,882人)
認定失効者数4,882人
(治癒等2,102人+死亡者数2,780人)
令和3年5月末現在 (健康福祉局)

発行編集
川崎市環境局総務部企画課
電話 044 (200) 2386 (直通)
E-mail 30kikaku@city.kawasaki.jp



メールニュース
かわさきへ



大豆油インキで印刷しています。